

外国人旅行者呼び込め!

新庄市は本年度から本格的に訪日外国人旅行者(インバウンド)の誘客に乗り出した。インバウンド誘致キャンペーン実行委員会を組織し、隣接の宮城県大崎、秋田県雄勝の両地域とも連携し今秋、魅力的な最上地域の観光資源をアジア各国に売り込む。今月下旬には、新庄まつりなどに台湾の旅行代理店関係者を招く計画だ。

インバウンド誘客には、国内の観光客が減少する中、外国から観光客を呼び込み観光振興につなげる狙いがある。大崎、雄勝両地

域と広域連携を図り力を注ぐ。市商工観光課は「1周遅れの取り組みだが、京都や奈良、銀座とは違った、日本の素朴さが残り、体験できるスポットとして最上の原風景をPRしてきた」と意気込む。

市は、誘客対策として県最上総合支庁とタイアップし観光講座を開講。講師は

今月、台湾関係者を招待

同市出身で東アジア地域のインバウンド向けマーケティングプランナーとして活躍する斎藤征寛さん。観光関係者らに受け入れ態勢のノウハウを学んでいる。また、最上地域雇用創造推進協議会が外国人客とコミュニケーションを取るために作製した英語圏、韓国、台湾・香港、中国の4言語に対応できる「指さし対話カード」を活用し備える。

市は、11月に台湾で開かれる台北国際旅行博に初めて派遣する。最上地域の魅力をアジア各国にアピールする考えで、雪やスキ、

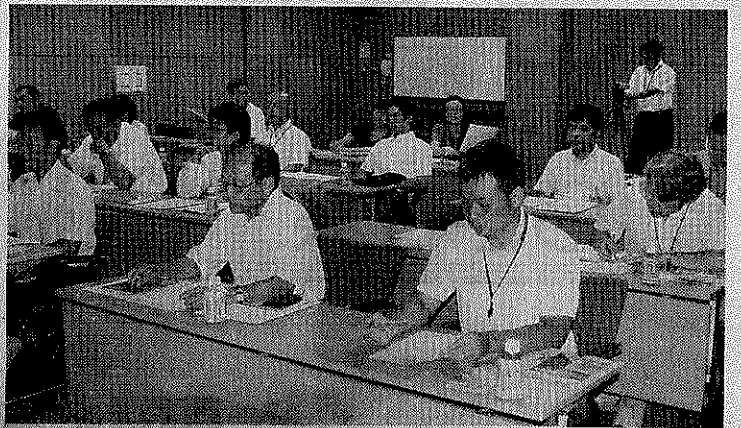
大崎(宮)・雄勝(秋)と魅力発信連携

四季豊かな自然などを盛り込んだ台湾向け観光パンフレットも準備中だ。

最上地域の魅力を発信する第1弾として今月下旬、台湾の旅行代理店、旅行編集記者、ウェブサイト開設者の3人を招待。一行は大蔵村の肘折温泉で伝統の湯治文化やそば打ち、戸沢村の最上川舟下りを体験す

る。新庄市では国重要無形民俗文化財・新庄まつりを観賞し、山車(やたい)も引く。鳴子温泉郷(宮城県大崎市)では「けし」の絵付けを体験し、小安峡温泉(秋田県湯沢市)にも足を運ぶ。

市は「インバウンド誘客を通して最上地域の観光振興につなげていきたい」と張り切っている。



インバウンド誘客に向け受け入れ態勢などについて理解を深める関係者。7月、新庄市